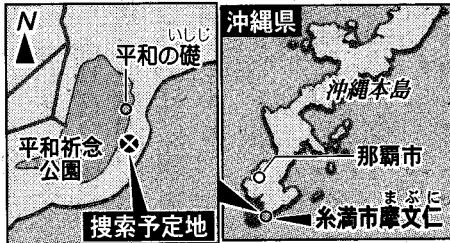




島田叡氏



## 兵庫高出身 沖縄戦で不明の島田元知事

# OBら 今月遺骨搜索

**15** 島田叡 1901  
年、神戸市須磨区生まれ。旧制神戸二中（現・兵庫高）などを経て東京帝国大（現・東京大）から旧内務省に入り、45年1月、沖縄県知事に就

戦となつた沖縄戦では、壕を転々しながら執務を続け、同年6月以降、糸満市摩文に付近で消音器を絶つた。当時43歳で、自決したとされる。

武陽会の小林正美理事長(54)は「島田さんから『耳へ見つけてくれ』と  
言われてからようつた気がする。力を合わせて捜し  
たい」と話している。

施される。島田氏の母校である兵庫高校（神戸市長田区）のOBや、那霸市で研究を続けてきた女性らが合同で捜索する。戦後67年がたつても謎の

たとして、沖縄で今も島  
守」として慕われる。  
遺骨捜索のきっかけは

神戸市出身で、第2次  
大戦中の沖縄戦当時に沖  
縄県知事を務めた島田叡  
氏の遺骨捜索が今月22、  
23日、同県糸満市摩文仁

島田氏は米軍の沖縄上陸が迫る中、最後の官選知事として1945年1月に沖縄県知事に就任。

## 最期の姿解明に期待